



11/9 俳句 ing & Walking !!



俳人の家藤正人さんと別子銅山の産業遺産を巡る、第5回新居浜市観光協会ウォーキング事業「俳句 ing & Walking」が開催されました。

同催しは、日暮別邸記念館と周辺をゆっくりと巡る俳句 ing コースと、星越駅舎、西洋住宅など周辺の産業遺産群を巡る Walking コースに分かれて実施されました。

絶好の秋晴れの下、参加者らは新居浜南高校ユネスコ部による産業遺産に関するガイドに耳を傾けながら俳句づくりを楽しみ、句会ライブでは家藤さんの軽妙なトークによる進行で大いに盛り上がりました。

11/9 11/10 家族連れらが秋を満喫!!



子どもが楽しめるイベント満載の「Hello! にいはまキッズ大物産展」がイオンモール新居浜の特設会場であり、多くの家族連れらが秋の一日を満喫しました。

会場には地元物産品のほか、6月に行われた「新居浜どんぶり選手権」の上位3店も出店。お昼時には行列ができ、来場者はおいしそうに丼を頬張っていました。なりきりファッションショーにはキャラクターに扮した子どもたちが登場し、愛らしい姿で観客を魅了。結婚7年目の夫婦を祝う「銅婚セレモニー」もあり、2組の家族に証明書と記念品が贈られました。

11/10 自然に囲まれ Running !!



別子山の森林公園ゆらぎの森において「第1回ゆらぎの森リレーマラソン」が開催されました。

市内外から20チーム、154人が参加。ランナーは紅葉が始まった自然豊かなコースをチーム一丸となってタスキをつなぎ走りました。

このコースは1周約900m(計47周42.195km)。前半は緩やかな上り、後半はアップダウンが激しく、タスキをつないだ後には疲れ果てて倒れこむランナーもいました。

1位は新居浜市消防チーム(2時間39分7秒)。どのチームも自然を楽しみながら親睦を深めていました。

11/11 紅葉を楽しみながら健康づくり♪



「第5回健康都市づくりノルディック・ウォーキング大会 in 新居浜」が山根市民グラウンド発着の2コースで開催され、参加者が秋風を頬に受けながら、爽やかな汗を流しました。

出発前には全日本ノルディック・ウォーク連盟認定インストラクターの森裕史さんから効果的な歩き方を教わり、準備も万端に。約3.6kmの基本コース、約7.2kmの健脚コースに分かれ、元気に出発しました。

時折小雨がぱらつく中、参加者はそれぞれのペースで坂道をウォーク。色づく紅葉に目を細めながら、仲間とゴールを目指していました。

11/13

祝！高校駅伝全国大会出場



「男子第70回全国高等学校駅伝徒競走大会愛媛県予選」において県高校新記録（2時間7分29秒）で優勝し、全国大会（12/22、京都）に出場する新居浜東高校陸上競技部の男子駅伝部の選手およびチーム関係者らが市役所を訪れました。

原秀寿主将は「全国大会では県大会で出した新記録超え、また愛媛県勢初の15位以内が目標。お世話になった人に恩返しをしたい」と意気込みを語りました。これに対し市長は「今までの練習の成果を信じて、思いっきり都大路を駆け抜けてください」と激励しました。

11/16

優勝へつないだタスキ



「男子第39回・女子第28回愛媛中学駅伝競走大会兼第27回全国中学校駅伝大会愛媛県予選会」が東雲競技場であり、新居浜西中学校が男女アベック優勝を飾りました。

今年は男子68校、女子70校が出場。男子は新居浜西中が2区でトップに躍り出ると、その後も安定した走りで連覇。女子の新居浜西中は序盤から危なげないレース展開で、3年ぶり4度目の優勝を果たしました。

12月15日(日)に滋賀県で行われた全国大会では、男子が5位入賞（58分16秒）、女子が14位（43分27秒）と健闘しました。

11/17

ものづくりの楽しさを!!



「ものづくり」の楽しさや技術力の高さを次世代を担う子どもたちに伝えようと、行政や地元企業が一体となり、イオンモール新居浜で「東予ものづくり祭2019」を開催しました。

空き缶コプター滞空対決では(株)大石工作所が連覇し、出場した山田龍紀さんは「プレッシャーがあったけど、優勝できてよかった」と安堵の表情。仕事の合間に研究し、試行錯誤したそうです。

そのほかにも「水素エネルギーについて学ぼう」や「ものづくり体験コーナー」など、さまざまなイベントが開催され、会場は大いに賑わいました。

11/22

演劇「ピン・ポン」に込めた思い



あかがねミュージアムでの子ども向け演劇「ピン・ポン」上演に合わせ、日本を代表する演出家・劇作家の佐藤信さん（写真右から2人目）が市役所を訪れ、作品に込めた思いなどを明かしました。

佐藤さんは半世紀以上にわたり演劇界をけん引。座・高円寺など公共劇場の芸術監督を歴任し、劇場と地域を結ぶ活動を展開してきました。

同作について、佐藤さんは「絵本のように、ページをめくっていく楽しさが味わえる作品をつくりたかった」と説明。10年間上演を重ねましたが、「観客の反応などで毎回変わる。同じだった公演は一つもない」と柔和な表情で語りました。



11/26 全力で頑張ります!!



第28回全国小学生バドミントン選手権大会(12/21～25、徳島県)に出場する選手らが市役所を訪れました。

全国大会に出場するのは、8月の県予選、10月の四国ブロック予選で上位入賞した9選手。所属チームや出場種目などの自己紹介を終えた後、全員が堂々と抱負を述べました。全選手に共通していた「全力で頑張りたい」という言葉を受け、市長は「日頃の練習で培った技術を出せば必ず優勝は付いてくる。全力で頑張ってください」と激励しました。

11/27 協定を締結しました



ソフトバンク㈱(写真右)と㈱ハートネットワークと新居浜市は、11月27日付でスマートシティの推進に向けた連携と協力に関する協定を締結しました。

同協定はスマートシティの推進に向けて緊密な相互連携と協働による活動を推進し、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、市民サービスの向上および地域の活性化を図ることを目的としています。

市長は「『住みたい、住み続けたい産業・環境共生都市』の実現に大きく寄与するもので、今後の連携事業に大いに期待をしている」と話しました。

11/27 JICA 海外協力隊の出発のあいさつ



1月9日から2年間、JICA 海外協力隊として南米エクアドルに派遣される白岡大さんが市役所を訪れ、出発のあいさつをしました。

白岡さんの派遣は2回目。前回は中米ニカラグアの病院で治療や現地スタッフの指導にあたりましたが、今回は医師や看護師とのチームでエクアドルの地方都市を巡回します。

前回の活動を振り返り、「日本との価値観の違いを目の当たりにし、学ぶべきところも多かった」と白岡さん。「今回は病院勤務ではなく、経験がないので不安はある。頑張ってきたい」と決意を新たにしました。

11/30 ピアノに絵本に夢中♪♪



あかがねミュージアムにおいて家族で楽しめる「子育て応援フェスタ in いはま～はじまり、はじまり～」が開催されました。

ピアノデュオ「デュエットウ かなえ&ゆかり」による「はび☆きらピアノコンサート」では楽しい音楽や軽妙なトークで盛り上がり、タレントの高見知佳さんによる絵本読み語りでは、子どもたちは絵本に夢中で聞き入っていました。

他にも空き缶を使った舞台「CAN」や親子でおもちゃ作り、3匹のこぶたの人形劇などイベントが盛りだくさん。会場には多くの家族連れが来場し、楽しい一日を過ごしました。